

令和3年度子ども議会 第3部(中学生の部) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問要旨	再回答要旨
1	1	幡羅中学校	SDGsについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業でSDGsについて学習し、1年間かけて調べて実践しています。</li> <li>・深谷市では、SDGsについてどのような取組みをおこない、どんなことに力をいれていますか。</li> <li>・私たち中学生に参加、協力できることはありますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsは、持続可能な社会の実現に向けた、国際的な17の目標であり、市としても取り組むべきことと考えています。</li> <li>・「ゼロカーボンシティふかや」宣言や「GIGAスクール構想」は、SDGsの目標につながる取組です。</li> <li>・市では、福祉、産業分野などの事業により、すべての市民が安心して暮らし続けられるよう進め、これら取組のほとんどがSDGsにつながるものと考えています。</li> <li>・中学生の皆さんが、世界的な課題を自分事として捉え、周りの人を思いやり、自分ができることは何かを考え生活してもらうことで、「誰一人取り残さない」、持続可能な社会を実現するための参加、協力です。</li> </ul>	企画財政部長		
2	2	明戸中学校	iPadの活用方法について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「渋沢spirit in ふかや GIGAスクール」の一環として1人1台iPadが整備されました。</li> <li>・授業での使用も増えましたが、今後どのような場面でiPadを活用していく予定ですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深谷市では国のGIGAスクール構想をうけ、「渋沢 spirit in ふかや GIGAスクール」を定めて取り組んでいます。深谷市では5つの観点に立ち、GIGAスクールの実現を目指しています。</li> <li>・例えば、発表に向けての準備において、同時に一つのシートで活動することができたり、臨時休校時等、遠隔会議システムを用いることで同時双方向の学習を継続的に行うことができます。</li> <li>・実際、各小・中学校では、コロナ禍でのオンライン授業参観や遠隔会議システムを用いた生徒総会、他校との交流など、令和の新しい学びが次々に生み出されています。</li> <li>・国や県では教科書やテストの電子化を検討しており、今後、活用場面はさらに増えると考えられます。</li> <li>・深谷市教育委員会としては、学びの幅が広がり、皆さんが主役となる学びや協働しながら学びあう姿が生まれるように支援していきます。</li> </ul>	教育部長		
3	3	藤沢中学校	花園IC付近に完成するアウトレットモールや野菜のテーマパークの集客の予想について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトレットモールの経済効果について、疑問を持つ方もいたのではないかと思います。</li> <li>・市ホームページに書かれているように、車で90分を商圏として設定することで、本当に利益を出すことができるのでしょうか。車で90分とした根拠も含めて教えていただきたい。</li> <li>・他のアウトレットの統計なども参考にしているのでしたら、その情報も教えていただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設を運営する三菱地所・サイモン株式会社により、交通アクセスの良さや商圏内人口、周辺の観光資源の状況などを総合的に考慮し、車で90分を商圏として設定しています。</li> <li>・花園ICに近く、ふかや花園駅前に位置し、とても交通利便性が高い場所になります。また、本市は野菜や花などの農産物が豊富で、周辺には長瀬や秩父地域などの魅力ある地域資源があるため、これらの条件や市の魅力を評価していただいたものと考えています。</li> <li>・三菱地所・サイモン株式会社の経営は、企業の業績状況を示す決算書などによっても、利益を出していることがわかります。</li> </ul>	産業拠点整備特命監	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入間にもアウトレットがあるし、東京は便利で品物も多いため、わざわざ東京から深谷に来る可能性は低いと思います。その点はどう考えますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どのようなターゲットを商圏に設定するかが第一だと思います。東京から来るかどうかはお客さんの考えですが、アウトレット事業者は、花園から90分圏内にどのくらいの人口や年齢層の人がいるのかも加味しながら商圏を設定しています。</li> <li>・遠方のお客さんにも来てもらいたいと考えているので、応援をよろしくお願いします。</li> </ul>
4	4	豊里中学校	「渋沢栄一政策部」への質問 渋沢栄一翁の大河ドラマ終了後の取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大河ドラマの放送がきっかけとなり観光客が増加して深谷市もにぎやかとなり、とても誇りに思っています。</li> <li>・大河ドラマが終了後に観光客を減少させないための取り組みはありますか。</li> <li>・深谷ねぎの魅力の発信など、渋沢栄一翁だけでなく深谷に来たくなるものを発信していくとよいと思います。</li> <li>・渋沢栄一翁が主役の大河ドラマで深谷の人气が上がった今、大河ドラマ終了後に人气が下がってしまわないようにしたいと思い質問します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋沢栄一記念館や深谷大河ドラマ館など渋沢栄一翁の関連施設に足を運んでくださる方々が増えたと感じており、大変嬉しく思っています。</li> <li>・大河ドラマが終了した後について、令和5年には旧渋沢邸「中の家」主屋改修が完了し見学ができるようになります。</li> <li>・さらに、ホフマン輪窯改修を行い2024年(令和6年)の新一万円札の発行に向けて、引き続き渋沢栄一翁を広めていきます。</li> <li>・また、深谷ねぎの魅力の発信についても、これらを絡めた取り組みを考えていきます。</li> <li>・大河ドラマが終了した後も渋沢栄一翁を活用して深谷市の魅力を高めていきたいので、アイデア出しなどご協力をお願いします。</li> </ul>	渋沢栄一政策推進部長		
5	5	南中学校	市の小、中学生が渋沢栄一について学びを深める取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋沢栄一ジュニアボランティアガイドや、市と渋沢栄一について学ぶ行事に取り組み、学年みんなで学べたことは、大きな財産になりました。</li> <li>・そこで、渋沢栄一翁ジュニアボランティアガイドを再スタートし、深谷市中の小学生に渋沢栄一について学ぶ機会をもっと増やして欲しいと思いました。</li> <li>・市が市内小中学生に向けて、渋沢栄一について学びを深める取り組みはありますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジュニアボランティアガイドの再スタートについては、感染防止の観点から、活動中止が余儀なくされています。市としては、感染状況を考え、安全安心に実施できることを第一に実施の検討を行っています。</li> <li>・学ぶ機会を増やすことについては、ふるさと先生による授業や「渋沢栄一 ころぞし読本」を使った道徳の授業などがあります。</li> <li>・今年度、市では、「青天の藍の種プロジェクト」や「手紙でつむぐ『ありがとう』の思い」の「栄一翁特別賞」の用意、県内児童生徒を対象に大河ドラマ招待券の配布等に取り組んでいます。</li> <li>・夏休みには、大河ドラマ館に来館した小中学生を中心に、栄一翁の「道徳と経済」について学ぶ機会を設けています。</li> <li>・今後も、深谷市教育委員会は、栄一翁を語れる子供たちを多く育てるよう、「立志と忠恕の深谷教育」を推進していきます。</li> </ul>	教育部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校生や一般の方も渋沢栄一翁について知ってもらおう企画などは考えていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色々な形で市民の皆さんに栄一翁の精神等を知ってもらい、深谷を誇りに思う気持ちを持ってもらえるよう学校教育に限らず取り組んでいきます。</li> <li>・皆さんも、卒業後も積極的に参加いただき、深谷を誇りに思う気持ちを高めていただきたい。</li> </ul>

令和3年度子ども議会 第3部(中学生の部) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問要旨	再回答要旨
6	6	上柴中学校	少子社会における学校運営について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深谷市人口ビジョンによると令和30年には市の子供の人口は10,000人を割り込むほどまでに減少すると推計していますが、小中学校は30年後も存続できるのでしょうか。それとも統廃合が行われるのでしょうか。</li> <li>・学校行事や登下校を通して交流機会を得ることで、その地域が活性化すると思えます。今後も小中学校が残り続けることを願っています。</li> <li>・これから更に子供の人口が減少し続ける中、どのような考え、計画があるのでしょうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の一部市町村では、1年生と2年生で1クラスを編成する等の、いわゆる複式学級を導入する学校も出ており、そうした地域では、学校再編に向けた方針や計画の策定が進んでいる状況です。</li> <li>・深谷市では、当面の間、複式学級を導入する学校は生じない見込みであり、現時点において市内小・中学校を統廃合する計画はありません。</li> <li>・一方、長期的には学校統廃合の方針や基準を作成する必要があると考えているため、今後とも児童・生徒数の推移を注視し、方針や基準の策定に向けて研究を進めていきたいと考えます。</li> </ul>	教育部長		
7	7	岡部中学校	深谷市の農産物・工業製品について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産業振興部では「深谷市の農産物や工業製品」などがもっと有名になって売れるように頑張っています。」とあります。</li> <li>・深谷市はネギやブロッコリーの栽培が盛んなイメージがありますが、深谷市が力を入れている農産物は他にありますか。</li> <li>・また、深谷市で有名な工業製品についても知りたいです。</li> <li>・深谷市の農産物、工業製品が全国に知れ渡るために、現在行っている取り組みや工夫を教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・深谷市で生産が盛んな農産物は、ネギ、ブロッコリー以外にもきゅうり、ほうれん草、スイートコーンなどがあり、出荷量も全国トップクラスで、花きの生産も盛んなほか、深谷牛や武州和牛といったブランド和牛の産地として畜産も盛んであるため、ひとつの農畜産物に特化することが困難です。</li> <li>・ひとつの農畜産物に特化することが難しいため、全国の数ある農畜産物の中でも、深谷の農畜産物がとりわけ「ほかにないナンバーワン」というイメージをたくさんの人に持ってもらうようなPR戦略を展開しています。</li> <li>・深谷の工業製品といえば、かつてはテレビでしたが、現在はたくさん工場が出来て、多種の製品があり、ひとつの製品を推すことが難しい状況です。</li> <li>・このようなことから、市ではふるさと納税の返礼品に市内で生産されている工業製品を採用して、優れた工業製品を全国に発信しています。</li> </ul>	産業振興部長		
8	8	川本中学校	荒川の氾濫による川本中学校の台風被害について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一昨年、台風19号の影響により荒川が氾濫し、近隣の市民が避難したり、川本中学校の校庭が約半年間使用できなくなりました。</li> <li>・このような状況を防ぐため、市の災害時の対策について、何か行っていることはあるのか教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川本中学校の校庭は、荒川の河川敷にあるため、水害による被害を完全に防ぐことは難しいものと考えています。</li> <li>・荒川の氾濫による被害を少しでも軽減するため、荒川を管理する国や県に要望し、昨年度、川本中学校より下流地点に堆積した土砂の一部撤去を国に実施してもらったところでした。</li> <li>・今後も国や県に要望を行うとともに、国や県と協力し、可能な限り対策を進めていきます。</li> <li>・なお、市全体の防災対策としては、地域防災計画において災害時の救助活動や復旧・復興対策を、国土強靱化地域計画において事前の予防対策を定めており、これらの計画に基づき取り組みを進めていきます。</li> </ul>	総務部長		
9	9	花園中学校	花園地区のアウトレット建設について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アウトレットを機に多くの人が訪れ企業も誘致され、深谷市が発展すると思いますが、町の変化に寂しさも感じています。</li> <li>・花園の緑豊かな田園風景や生き物などをどのように守ろうと考えているのですか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全については、「深谷市環境基本計画」に基づいて、取り組んでいます。</li> <li>・多様な生物を守るため、アライグマなど特定外来生物を防除したり、緑豊かな公園をきれいにしたり、生き物たちが生息しやすい環境の保全などを行っています。</li> <li>・アウトレット建設では、周辺の田園風景との調和や生物の環境保全に配慮した開発を心がけています。</li> <li>・具体的には、周辺と調和するデザインの建物建設や、緑地帯の設置、通路に木々を植えると伺っています。</li> <li>・調整池の底をコンクリートではなく土にして、鳥や昆虫が生息できる環境を作ります。</li> <li>・西側の「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」では、体験農場を作り、周りに多くの木々を植えます。市も緑が広がる「深谷テラスパーク」の整備をすすめます。</li> <li>・今後とも、市では環境に配慮したまちづくりを進め、市が発展していくよう取り組んでいきます。</li> </ul>	産業拠点整備特命監		
10	10	東京成徳大学 深谷中学校	地域共生社会の実現に向けた「孤立する人たち」に対する相談支援や地域づくりの取り組みについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉法が改正され、地域共生社会の実現に向けて市町村の相談体制が強化されると言われていました。</li> <li>・身近な社会では高齢化社会・核家族化が進み、認知症などの悩みを抱えた高齢者や家族が相談できず悩んだり、引きこもりや不登校の若者が増えています。</li> <li>・このような問題に対して、市独自の取り組みや相談支援体制の具体的な対応策があれば教えてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化や核家族化が進むなど、社会構造の変化により、家族の悩みを誰にも相談できず、孤立してしまう人がいるという現状があります。</li> <li>・現在の行政の体制では、高齢者の介護や子どもの不登校や引きこもりなど、問題の内容によって、対応する部署が異なっており、相談は複数の部署に行わなければならないという欠点があります。</li> <li>・本市では、複数の部署にまたがる問題の相談に対して、1つの窓口で対応していくワンストップ型の相談窓口を、現在の生活困窮者自立相談支援窓口の対象を拡大し、令和6年度に設置していきたいと考えています。</li> <li>・市民に寄り添い、必要に応じて訪問も行えるような相談支援体制の充実に向け取り組んでいきます。</li> </ul>	福祉健康部長		

令和3年度子ども議会 第3部(中学生の部) 質問と回答の要旨

発言順	議席番号	学校名	タイトル	質問要旨	回答要旨	答弁者	再質問要旨	再回答要旨
11	11	深谷中学校	深谷市駅前の活性化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋沢栄一の影響で深谷市が注目を集めており、深谷を知ってもらえるチャンスではないでしょうか。市外からの来訪者にも、もっと深谷市を楽しんでもらいたいと思います。</li> <li>・そのために、駅前の賑わいある街作りを提案します。例として、ショッピングモール等の施設建設も考えられます。</li> <li>・他にも、どのようなことを行っていきたくて考えていますか。意見を聞かせてください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前中心市街地の街並みを整備しており、道などの整備も進んで、新しい街並みが見えて来ています。街並み整備が進むと商店も商売しやすく、買い物もしやすくなり、駅前のにぎわいに繋がるものと考えています。</li> <li>・商売を後押しするため、「一店逸品(一品)」というお店の一押し商品を作ってもらえる事業や、市役所レンガコリドーのイベントを通じて、お店の魅力をPRしています。</li> <li>・ショッピングモールの建設は市だけでは決められません。</li> <li>・個々の商店が魅力を増し、街並み整備と共に繋がることで、ショッピングモールに引けを取らない場所になると考えます。</li> <li>・大河ドラマやアウトレットで来訪者の増加が見込まれるので、チャンスを活かし、深谷駅前のにぎわいの創出に取り組んでいきます。</li> </ul>	産業振興部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍においても市の産業を盛り上げる対策として、どのような取り組みがありますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほどの答弁でも触れましたが、市役所レンガコリドーでは月1回、密を避けながら、地元事業者によるカフェやマルシェを開催しています。イベント時だけでなく、お店の良いモノをPRしてもらい、お客様がお店に足を運んでもらえるよう盛り上げていきたい。</li> <li>・他にも「一店逸品」の取組みやネット販売の仕組み等も取り入れ、これまででいなかった売り方や活性化の仕方を模索しながら進めていきます。</li> </ul>